

Q.2

入院中の食事について
教えてください

.....
食事は患者さんの体調や持病に合わせて管理栄養士が内容を調整します。たとえば高血圧の方には減塩食、糖尿病の方には糖尿病食などをご用意します。配膳や下膳は看護師・看護補助者が行いますので、安心して療養に専念してください。

Q.3

手術後、トイレはどうなりますか？

.....
体調に問題がなければ、多くの方は手術翌日から車いすでトイレに行けるようになります。最初は車いすの操作に慣れるまで看護師が付き添い、お手伝いします。その後はリハビリの進み具合に応じて、病棟内での移動も車いすから歩行器へ、そして自立歩行へと段階的に進んでいきます。少しずつ日常生活に戻れるよう、スタッフが安全にサポートしますのでご安心ください。

Q.1

人工関節をしても畑仕事、又はスポーツはできますか？

.....
術後の経過が良ければ、園芸や畑仕事など日常的な活動を続けられる方も多くいらっしゃいます。ただし、深くしゃがむ動作や重い荷物の持ち運びは関節に負担がかかるため注意が必要です。ウォーキングなど関節にやさしい運動はおすすめですが、活動内容については主治医と相談しながら進めてください。

手術とその後の生活

よくある質問

Q&A

入院生活について

安心への取り組み

Q.4

入院中の入浴はどうなりますか？

.....
当院には湯舟はなく、シャワー浴になります。入院当日はシャワーを浴びていただきますが、手術翌日は看護師が体を拭いて清潔を保ちます。術後は傷の保護材が安定し、全身の状態が整ったら(目安として術後5日頃)、シャワー浴が可能です。初めは看護師や看護補助者がお手伝いしますので安心してください。

Q.5

術後のリハビリは？

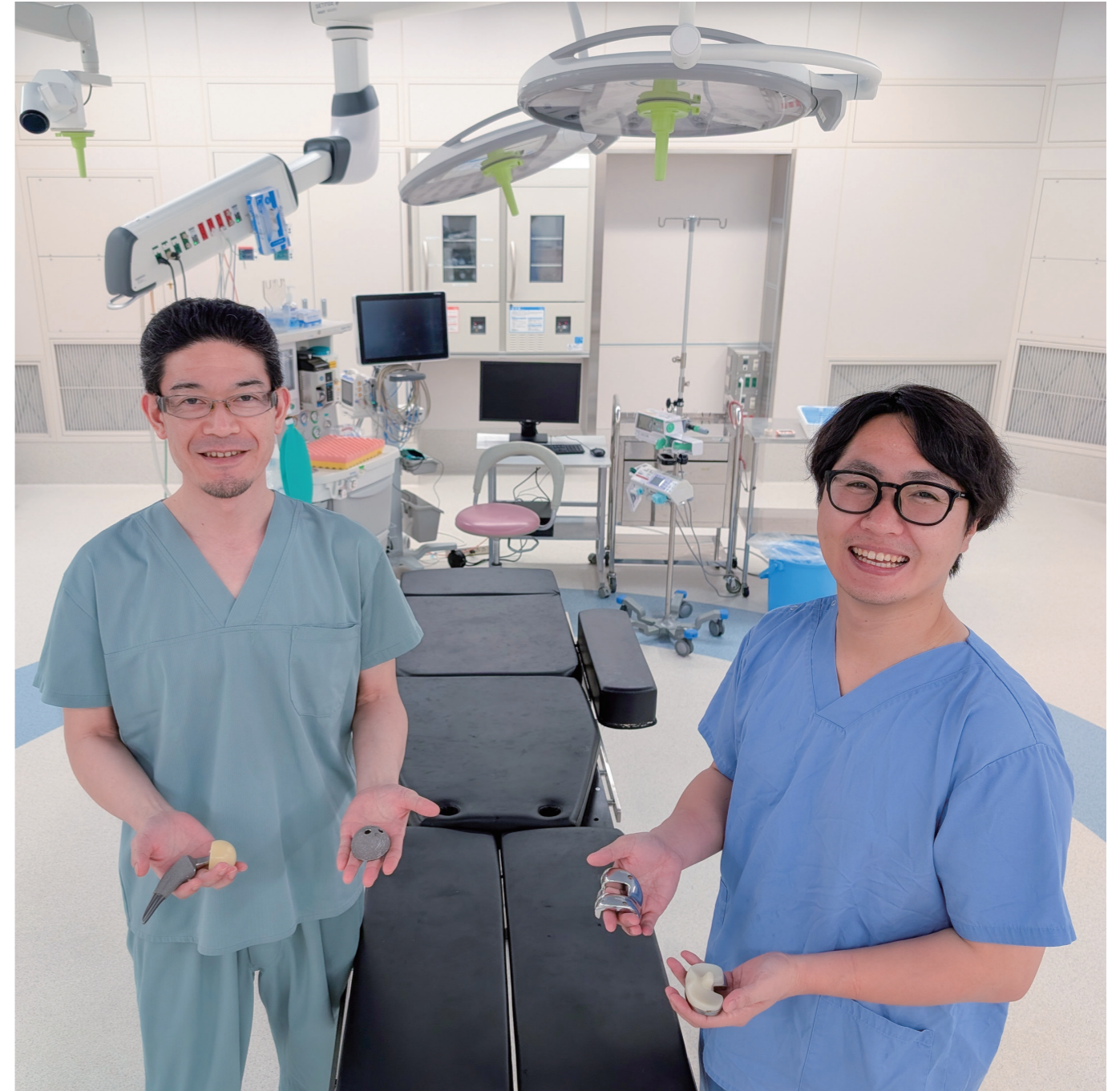
.....
ベッド上安静期間はなく、ほとんどの方が手術翌日に車椅子離床が始まり、2日以内にリハビリ室にいられます。また、手術前よりも生活が向上することが目標のため、歩行のみでなく、生活に沿った種々の運動や練習を行います。リハビリの期間は、手術前の関節の硬さや筋力、他のご病気等にて個人差がありますが、概ね2ヶ月内には生活動作を獲得されています。

Q.6

入院費用はどれ位かかりますか？

.....
入院費+食費+部屋代(有料個室)+おむつ代など。
入院費は収入に応じた限度額が定められております。
詳しくは、担当者にお尋ねください。

心と歩みを、軽くする。



もう一度、歩くよろこびを、いっしょに。



くまもと
県北病院
KUMAMOTO
KENHOKU
HOSPITAL

〒865-0005 熊本県玉名市玉名550番地

TEL:0968-73-5000(代表) / FAX:0968-73-5300(地域連携課直通)

休診日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始

受付時間 8:30 ~ 11:00 診療時間 9:00 ~ 16:00

患者さんのご紹介につきましては「地域医療連携課」で承ります。

病院HP



Instagram



くまもと県北病院
KUMAMOTO KENHOKU HOSPITAL

人工関節置換術ってなに？

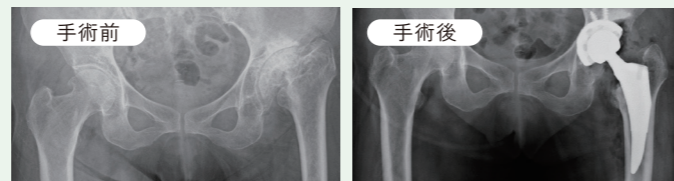
痛みの原因となっている関節を、人工のパーツに置き換える手術です。

関節には、骨と骨がぶつからないようにする「軟骨(なんこつ)」というクッションがあります。長年の使用や病気によって、この軟骨がすり減ると、骨どうしvvがこすれてしまい、「ズキズキとした痛み」や「関節がうまく動かない」といった症状が起こります。

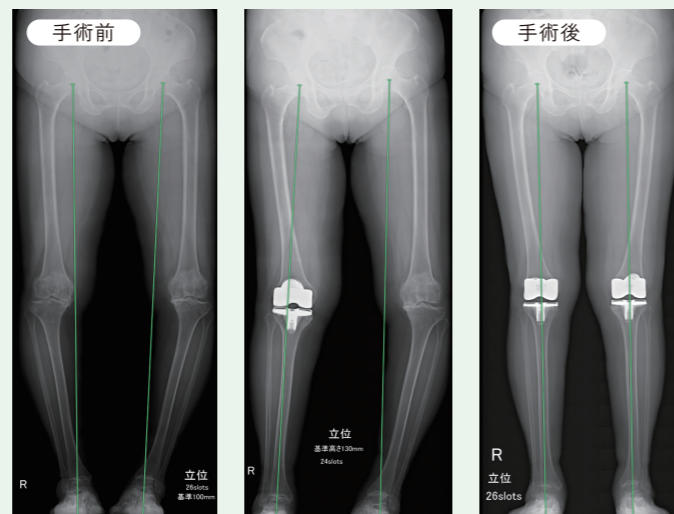
人工関節置換術は、傷んだ関節の表面を整え、その上から人工パーツ(人工関節)をかぶせるように固定する手術です。

これにより、関節の動きをスムーズにし、痛みをやわらげることで、日常生活をより快適に過ごせるようお手伝いします。

人工股関節置換術



人工膝関節置換術



この写真は当院で手術を受けられた患者さんの症例を、ご本人の同意を得て医療説明・啓発の目的で掲載しています。治療の経過や結果はお一人おひとり異なりますので、参考例としてご覧ください。



\\ 先生教えて！ //

Q. 人工関節ってどれくらいもつの？

なんと15年から20年ほど使用可能！丈夫な素材で、できています。長持ちさせるためには、①過度な負担のかかる運動は避ける。②適切な体重を維持する。③定期的に検診を受ける。④関節を無理に使わない。この4つがとても大切です。

くまもと県北病院 人工関節外来 3つの安心

整形外科だけじゃない。多科連携の安心サポート

当院には整形外科のほか内科系診療科も充実しており、持病のある方や体力に不安のある方でも、安心して手術のご相談が可能です。術前・術後を通して各診療科と連携し、総合的にサポートします。

あなたに合わせた、安心の治療とリハビリ

術後のリハビリは、当院内のリハビリ専門病棟で継続できます。また、地域のリハビリ病院への転院も可能です。早めの退院を希望される方には、地域の整形外科と連携した外来リハビリのご案内も行っています。ご希望に応じて当院外来や他の施設での継続が可能です。

入院中の手厚いフォロー体制

退院後の生活に不安を感じる方もご安心ください。看護師、管理栄養士、薬剤師、社会福祉士など多職種が連携し、介護や食事、お薬、入院費や制度のことなど幅広いご相談に対応しています。お一人おひとりの状況に合わせて、一緒に解決策を考えながら、安心して次の生活へ進めるようお手伝いします。

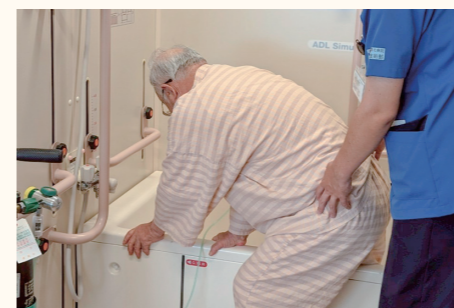


術後から退院まで 一歩ずつ、できることを増やしていきます

手術後早期から、新玉名駅を一望できる約483㎡の広いリハビリセンターで歩行練習等が始まります。回復期リハビリ病棟には、ラウンジ兼用の運動スペースもあり、患者さん一人ひとりの状態に合わせた加療プログラムで運動を行っています。

手術後の目安

	入院日数	車椅子離床開始	平行棒歩行開始	杖歩行開始
人工膝関節	4週～10週	翌日～	翌日～1週間内	7日～4週間内
人工股関節	2週～10週	翌日～	翌日～3日内	3日～4週間内



手術前は、痛みだけでなく、関節が曲がらないことでの制限も大きかったと思います。靴下が履けなかった、イスから立ち上がれなかった、お風呂がまげなかったなど、できなかったことを取り戻していくための練習も行います。また、患者さんだけでなくご家族もサポートの対象です。退院後の生活設計などのご相談も承っていますので、お気軽にご相談ください。



医師からのメッセージ

Message from the doctor



整形外科医長 中原 潤之輔

もう一度、自分の足で歩く という選択肢をあなたに。

ひざや股関節の痛みは、周囲にはなかなか伝わりづらいものです。「年だから仕方ない」「もう治らないかもしれない」と、我慢を続けている方がたくさんおられます。でも、正しく治療すれば痛みがやわらぎ、また歩けるようになる方はたくさんいらっしゃいます。手術が必要な場合も、患者さんご本人・ご家族としっかり話し合い不安を一つずつ解消してから治療に進むことを大切にしています。

術後も、リハビリスタッフや看護師と一緒に、日常生活に戻るまでサポートします。まずは「相談」からでかまいません。痛みや不安を抱える方が、もう一度笑顔で歩き出せるよう、私たちがしっかりと支えます。